

平成 14 年 11 月 7 日

広島市西区草津港二丁目 6 番 75 号

福留ハム株式会社

代表取締役社長 中島修治

(コード番号 2291 東証第 2 部、大証第 2 部)

問合わせ先 経理部長 吉田裕二

(TEL 082-278-6161)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14 年 5 月 27 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 15 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 14 年 5 月 27 日 発表)	16,670	200	50
今回修正予想 (B)	16,220	300	100
増減額 (B-A)	△450	100	50
増減率 (%)	△2.7	50.0	100.0
前期(平成 13 年 9 月中間期)実績	17,544	△325	△403

2. 15 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 14 年 5 月 27 日 発表)	16,900	250	90
今回修正予想 (B)	16,440	320	110
増減額 (B-A)	△460	70	20
増減率 (%)	△2.7	28.0	22.2
前期(平成 13 年 9 月中間期)実績	17,829	△299	△395

3. 15 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 14 年 5 月 27 日 発表)	32,800	260	70
今回修正予想 (B)	32,000	450	170
増減額 (B-A)	△800	190	100
増減率 (%)	△2.4	73.1	142.9
前期(平成 14 年 3 月期)実績	31,966	△819	△1,016

4. 15 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 14 年 5 月 27 日 発表)	33,200	330	120
今回修正予想 (B)	32,400	470	180
増減額 (B-A)	△800	140	60
増減率 (%)	△2.4	42.4	50.0
前期(平成 14 年 3 月期)実績	32,468	△787	△1,010

5. 理由

(1) 平成15年3月期中間業績予想

当中間期は、前期下半期(平成 13 年 10 月～平成 14 年 3 月)より経営体質の強化を重点施策として位置付け、不採算部門の統廃合、希望退職の実施、従業員の賃金カットを断行するなど総合的なローコスト・オペレーション体制に向けた整備を進めてまいりました。

その結果、当初予想に対して売上高は減少いたしました。平成 14 年 5 月に締結した林兼産業株式会社との業務提携による増産分をOEMを含めた生産性の向上により吸収し当初の予想を上回る原価削減となり、販売管理費の削減とあいまって経常利益、当期純利益は当初予想を上回る見込みとなりました。

(2) 平成15年3月期連結中間業績予想

売上高、経常利益および当期純利益の修正は、主に当社(個別)の業績予想修正によるものであります。

(3) 平成15年3月通期業績予想

通期の見通しにつきましては、平成 14 年8月より豚肉のセーフガード発動により原料価格が高値で推移すると思われることと、当業界全般で消費者の信頼が損なわれていることなどから厳しい状況が続くものと思われ。しかしながらより一層の原価低減を推進し採算を重視することと、年末において「霧島」、「黒豚」のギフト商品の拡販に努めること等により、売上高、経常利益、当期純利益を上記のとおり修正いたします。

(4) 平成15年3月期連結通期業績予想

売上高、経常利益および当期純利益の修正は、主に当社(個別)の業績予想修正によるものであります。

以 上